

1. 化学物質等及び会社情報

製品名(商品名)	バイオバリアー
製造・供給元	Fiberweb, Inc. A Berry Global Company
住所	70 Old Hickory Blvd Old Hickory, TN 37138 USA
国内販売会社名	株式会社 ニッソーグリーン
住所	〒110-0005 東京都台東区上野 3-1-2 (秋葉原新高第一生命ビル)
担当部門	営業一部
TEL	03-5816-4351
FAX	03-5816-4355
作成日	2015年4月15日
改訂日	2017年5月18日(03版)

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

爆発物	分類できない
可燃性又は引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支燃性又は酸化性ガス類	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類できない
有機過氧化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入：気体)	分類対象外
急性毒性：吸入(蒸気)	分類できない
急性毒性：吸入(粉塵・ミス ト)	区分4
皮膚腐食性又は 皮膚刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷 又は眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性 発がん性	分類できない
生殖毒性	区分2
特定標的臓器毒性 (単回ばくろ)	分類できない
特定標的臓器毒性	分類できない

(反復ばくろ)

吸引性呼吸器有害性
水生環境有害性(急性)
水生環境有害性(長期間)
【GHS ラベル要素】

分類できない
区分 1
区分 1



絵表示
注意喚起語
危険有害性情報

危険
吸入すると有害
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
発がんのおそれの疑い
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

(安全対策)

- 1)保護手袋/保護眼鏡/保護マスクを着用すること。
- 2)屋外又は換気のよい場所でのみ使用すること。
- 3)粉じんの吸入を避けること。
- 4)汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 5)使用前に取扱い説明書を入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 6)環境への放出を避けること。

(応急処置)

- 1)吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸し易い姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。
- 2)皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当を受けること。
- 3)汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。
- 4)汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- 5)暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。
- 6)漏出物を回収すること。

(保管)

- 1)施錠して保管すること。

(廃棄)

- 1)内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名 トリフルラリンを有効成分（17.5%）とする混合物

組成情報

《ポリプロピレン》

CAS No. 9003-07-0
含有量 25～50%
注)色素含有：<1 %、紫外線安定剤含有：<3 %

構造式 (C₃H₆)_x
化審法 官報公示整理番号 6-402
安衛法 なし(公表化学物質扱い)

《ポリエチレン》

CAS No. 9002-88-4
含有量 25～50%
構造式 (C₂H₄)_x
化審法 官報公示整理番号 6-1
安衛法 なし(公表化学物質扱い)

《トリフルラリン》

化学名	α, α, α -トリフルオロ-2,6-ジニトロ-N,N-ジプロピル-p-トルイジン
CAS No.	1582-09-8
含有量	$\geq 10 \sim < 25\%$
構造式	末尾に記載
化審法	官報公示整理番号 3-426
安衛法	官報公示整理番号 4-(12)-215

《カーボンブラック》

CAS No.	1333-86-4
含有量	10~25%
化審法	官報公示整理番号 5-3328, 5-5222
安衛法	なし(公表化学物質扱い)

4. 応急措置

飲み込んだ場合
吸入した場合

口をすすぎ、速やかに医師の手当てを受ける。

固形ゆえ、可能性は低いですが、異常の場合は、次の措置をする。

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

気分が悪い時は、医師に連絡する。

救護者は、有害物がある場所に残っていると思われる場合は適切なマスクか自給式呼吸器を着用する。呼吸が無い又は不規則な場合は、訓練された人が人工呼吸又は酸素吸入を施す。マウス トウ マウスは行わない。意識不明の場合は、回復し易い姿勢にし、至急医師の診断/手当てを受ける。外気を取り入れ換気を良くする。襟、ネクタイ、ベルト等を緩める。火事による分解物を吸入した場合は、症状の発現が遅れることがあるので、被災者を48時間以上医師の手当下に置く様にする。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹸で洗う。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当手を受ける。

汚染された衣類は再使用する場合には洗濯する。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、診断/手当てを受ける。

5. 火災時の処置

消火方法

1) 固体部分は直火により燃焼する。

2) 着火した場合は、火元への燃焼源を断ち、風上から下記の消火剤を使用して消火する。燃焼により、下記の毒性・有害性ガスを発生するので、自給式呼吸器を含む消火保護具を着用すること。

3) 周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火剤

水、泡、二酸化炭素、粉末消火器

火災時の特定危険有害性 二酸化炭素、一酸化炭素及び低分子炭化水素化合物が発生する。

6. 漏出時の措置

1) 掃き集め容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

1) 熱、火花及び裸火には曝さない。

2) 皮膚・眼・衣類等との接触は避ける。

3) 取扱い後、手等をよく洗うこと。

4) 取扱い時は保護具を着用すること。保護具は「8. 暴露防止措置及び保護措置」を参照のこと。

保管

- 5)屋外又は換気のよい場所でのみ使用すること。
- 6)汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 1)直射日光を避け、乾燥した冷暗所で保管する。
- 2)施錠保管する。
- 3)製品劣化を防ぐ為積み上げ貯蔵には注意する。
- 4)腐食性の物質、強酸化剤の物質は避ける。
- 5)飲食物と区別して保管する。生活区域に近づけない。

8. ばくろ防止措置及び保護措置

許容濃度

《ポリプロピレン》

産業衛生学会 記載なし(2014年)

ACGIH TLVs(TWA) 記載なし(2014年)

《ポリエチレン》

産業衛生学会 記載なし(2014年)

ACGIH TLVs(TWA) 記載なし(2014年)

《トリフルラリン》

産業衛生学会 記載なし(2014年)

ACGIH TLVs(TWA) 記載なし(2014年)

《カーボンブラック》

産業衛生学会 記載なし(2014年)

ACGIH TLVs(TWA) 3 mg/m³(8hr、Inhalable fraction)(2012年)

設備対策 通常の室内換気に対応できる。

眼の保護具 保護メガネ着用

手の保護具 不浸透性保護手袋着用

呼吸器用の保護具 マスク着用

皮膚及び身体の保護具 長袖、長ズボン

9. 物理的及び化学的性質

外観等

形状 繊維質の固形物

色 黒色のペレットが付いた黄色～緑色不織布

臭い 溶剤による芳香臭(微)

pH 適用外

蒸気圧 0.00005kPa(室温)

融点 >48.5°C(トリフルラリン)

沸点 適用外

密度 適用外

引火点 適用外

溶解度 水 0.2ppm(25°C)(トリフルラリン)

Log Po/w 5.34(トリフルラリン)

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性通常の取り扱い条件下では、安定である。

避けるべき条件 塩素、フッ素、強酸化剤との接触を避ける。

11. 有害性情報

総括的な有害性情報

1)急性毒性(経口)：加算式から急性毒性推定値は5827.6 mg/kgとなったため、区分外とした。

2)急性毒性(吸入：粉塵・ミスト)：加算式から急性毒性推定値が2.114 mg/l(4hr)となったため、区分4とした。

3)皮膚感作性：区分1のトリフルランを1.0%以上含有するため、区分1とした。

4)発がん性：区分2のカーボンブラックを3.0%以上含有するため、区分2とした。

急性毒性

トリフルランのデータ

- 急性毒性(経口) LD50(ラット)：1930mg/kg
- 急性毒性(経皮) LD50(ラット)：>5g/kg
- 急性毒性(吸入) LC50(ラット；粉塵・ミスト)：2.8mg/l (1hr)

カーボンブラックのデータ

- 急性毒性(経口) LD50(ラット)：15400mg/kg

刺激性

トリフルランのデータ

- 皮膚刺激性：軽度の刺激性(ウサギ)
- 眼刺激性：軽度の刺激性(ウサギ)
- 皮膚感作性：あり(モルモット)

カーボンブラックのデータ

- 皮膚刺激性：刺激性なし(ウサギ)
- 眼刺激性：刺激性なし(ウサギ)

発がん性

	IARC	ACGIH	日本産業衛生学会
トリフルラン	3	—	—
カーボンブラック	2B	A4	2B

1.2. 環境影響情報

環境影響情報

- 1)水生環境有害性(急性)：製品の水生毒性データはないが、トリフルランのLC50/EC50のデータと含有率から区分1とした。(毒性乗数M=10)
- 2)水生環境有害性(長期間)：トリフルランは急速分解性がなく、生物蓄積性がある。トリフルランのNOECのデータと含有率から区分1とした。
- 3)トリフルランは、土壌移動は少なく、高有機土壌に吸着される。トリフルランの土壌半減期は約45日で、中程度であり、又分解は主に土壌微生物による。
- 4)長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性がある。

水生環境有害性

トリフルランのデータ

急性毒性

- 魚：LC50(マダイ) 0.021mg/L(96hr)
- ミジンコ遊泳阻害：LC50(オミジンコ) 0.193mg/L(48hr)
- ミジンコ遊泳阻害：LC50(ケミジンコ) 0.050mg/L(48hr)
- 藻類生長阻害：EC50(Pseudokirchneriella subcapitata) 0.214mg/L(96hr)
- 水生植物：EC50(コウキクサ) 0.170mg/L(96hr)

長期間(慢性)毒性

- 魚：NOEC(ファットヘッドミノ) 0.0003mg/L(35日)
- ミジンコ遊泳阻害：NOEC(オミジンコ) 0.0507mg/L(21日)
- 藻類生長阻害：NOEC(Pseudokirchneriella subcapitata) 0.031mg/L(72hr)

土壌減衰：50% — 45日

生物濃縮性：BCF 2290.87

カーボンブラック

- ミジンコ遊泳阻害毒性：LC50(オミジンコ) >5600mg/L(24hr)

1.3. 廃棄上の注意

- 1) 保護具を着用のこと。アフターバーナー及び排ガスクラバー付き(洗浄剤：アルカリ水溶液)の産業廃棄物焼却炉で焼却する。
- 2) 処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

1.4. 輸送上の注意

- 1) 荷役中の取扱いは、慎重丁寧に行い、手かぎの使用・転倒・落下・衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。
- 2) 運送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するための被覆等をするとともに、容器が動揺、摩擦、転落、落下が起こらないように積載・輸送する。

国連番号(クラス)	9
国連分類(容器等級)	III
国連分類(国連番号)	3077(環境有害物質(固体))
海洋汚染物質	該当

1.5. 適用法令

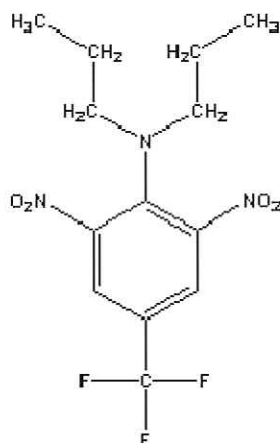
《毒物及び劇物取締法》	非該当
《消防法》	非該当
《労働安全衛生法》	
通知対象物質	カーボンブラック(政令番号 130)
表示対象物質	カーボンブラック(政令番号 130)
《化学物質管理促進法》	第1種指定化学物質：α,α,α-トリフルオロ-2,6-ジニトロ-N,N-ジプロピル-p-トルイジン(別名：トリフルラリン、物質番号 293)

1.6. その他の情報

記載内容の問い合わせ先 株式会社 ニッソーグリーン 営業一部
(TEL : 03-5816-4351 FAX : 03-5816-4355)

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

(以下添付資料)



CAS No. : 1582-09-8

物質名 : トリフルラリン